



つながるカレッジねりま みどり分野

コミュニティ・ガーデナーコース 講座だより

第1回「コミュニティ・ガーデン入門」

日時：令和2年10月15日（木）9：30～12：30

会場：生涯学習センター

今回の講座の流れ

「コミュニティ・ガーデナーコース」が開講しました。当日は、新型コロナウイルス対策を万全にとり、講座全体のオリエンテーション後、練馬のみどりの紹介や「コミュニティガーデン」の基本的な内容を学びました。そして、実習ガーデンの見学と周辺状況の確認を行い、ガーデンのコンセプトづくりの過程をワークショップ形式で体験しました。

各プログラムの様子



オリエンテーションの様子

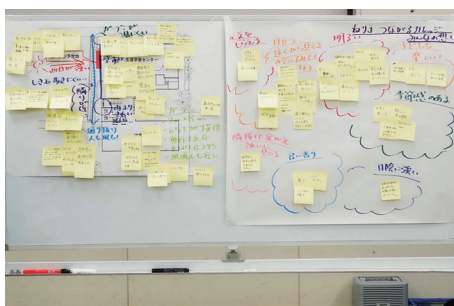


講師：三浦さん
(NPO Green Works)
から、コミュニティ
ガーデンについて
ご紹介

講師：矢口さん「コンセプトとは」
(NPO birth)



ガーデン実習地をみんなで調査！



たくさんの情報・想いが集まりました

オリエンテーション

1年間学ぶ講座の主旨や内容の話聞いた後、ねりまのみどりの魅力や施策について知りました。受講生の自己紹介タイムでは、講座に対して「土づくりを学びたい」、「地域のみどりをより良くしたい」、「仲間ができるといいな」など様々な声が聞かれました。

コミュニティガーデン入門 / コンセプトとは

ガーデンをつくる人、訪れる人、みんなが笑顔になるコミュニティガーデンの事例や3つのキーワード（エンジョイ・ローメンテナンス・ローコスト）について、話を聞きました。

そして、みんなで同じ方向を向くためには、コンセプトが大事であることを学びました。

実習地を見てみよう

これから、ガーデンづくりを行う場所の環境や印象を各自記録していただきました。

コンセプトワーク

実習地の現況を抑えながら、「のぞいてみたくなる」「隣接住宅からもきれいに見える」「こどもも楽しい」などの意見を出し合いました。

「コミュニティ・ガーデン」とは？

コミュニティ・ガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所も大きさも形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティガーデンです。

今回のキーワード



「人がかかると 風景が変わる」

(NPO Green Works 三浦)

今まで目にも留めなかった場所に、人がかかると、意外なほどにまちの表情が変わります。また、安心安全なまちづくりに繋がったり、まちの価値まで上がることも。コミュニティ・ガーデンはそんな風景づくりに、大きな役割を果たしているんですよ。

今月のお花紹介



フォーチュンベゴニア



花径が約10cmと大きく、色が鮮やかで、今までにない秋の花。日本の秋の花壇でも楽しめるように開発された、新しいタイプの球根ベゴニアです。寄せ植えなどのメインの花として使える他、葉の色も楽しめます。うまく育てれば、翌年にも花を楽しめるかも！

